

第4回成田空港緊急戦略プロジェクト会議 概要

- 1 日時 平成22年5月20日（木）午後1時30分～
- 2 場所 ポートプラザ千葉2Fロイヤル
- 3 出席者 出席者名簿のとおり
- 4 会議概要

(1) 森田知事あいさつ

国土交通省の有識者会議である「成長戦略会議」の最終報告に先立ち、前原国交大臣に面会し、本県の実情を説明し、政府案が出る前に県と必ず協議するよう要請した。その後、国交省事務方から有識者会議の最終報告について説明を受けている。

成田国際空港は、もちろん、ローカル空港ではなく、国際空港として、誇りと自信をもって、やっていこうという気持ちは変わらないし、そうしていかなければならない。このことを改めて申し上げたい。

(2) 報告事項（PR本部設置・カジノ）（資料3・4に基づき事務局から説明）

(3) 成田空港を活用した県経済の活性化について（資料5に基づき事務局から説明）

(4) 意見交換

（経営者協会）

- ・経済活性化には物流の役割が大きい。そのためには圏央道がなんとしても早く開通することが重要。道路がないことにはどうしようもない。

（商工会議所連合会）

- ・現状の圏央道を見ると、千葉県だけが大幅遅れている。
- ・モノ・物流を考えると、圏央道が出来ないと発展しない。圏央道が出来ると、千葉の農産物・水産物、全て、東京を通さず神奈川・埼玉、東名まで結べるようになる。また、企業集積、企業立地に違いが出てくる。
- ・当面のスタンスから言えば、圏央道を作り上げる。そうすれば、いろんな産業が成長・前向きに進んでくると考えている。圏央道整備は国の仕事だが、知事をはじめ交渉を進めてもらいたい。

（商工会連合会）

- ・千葉県が一番力を入れてきたのは国際物流。アクセスを含めたいろんな観点で国際物流基地についての整理を進めていくことが必要。

（日本航空）

- ・物流面について、例えば、半導体の輸送については、栃木にある工場からは、成田空港の方が羽田空港に比べアクセスがいいという地の利がある。そういった点をPRしていくことも大切であると考えている。

（京成電鉄）

- ・成田には広い土地がある。そこに物流基地を拡充する、ということは非常に有効。さ

らにそこに色々と税等の優遇策等を出してあげることが非常に有効。

(京成バス)

- ・圏央道の整備は、とにかく大栄まで繋げるべき。また、圏央道でも空港連絡道の整備が必要。そうでないと、機能を十分に発揮できない。

(成田市)

- ・物流は成田空港のポテンシャルを活かす上で有効な政策。圏央道が開通すれば、北関東・東北と成田空港は近づく。それも物流を呼び込む有利な条件になる。

(多古町)

- ・これまでの提案で、圏央道の完成後のICを中心とした開発を要望している。まずは圏央道の早期完成をお願いしたい。

(知事)

- ・圏央道は非常に大事だと認識している。空港問題、千葉活性化も含め、しっかりやっていかなくてはいけない問題と肝に銘じている。

(成田市)

- ・医療観光・メディカルツーリズムは、これから注目される。クリアしなければならない課題もあると思うが、医療関係者の皆さんからも可能であると意見を頂いている。

(知事)

- ・医療の問題は、私も日本の医療技術は非常に評価されていると思う。
- ・将来は成田空港にビジネスジェットが就航する気運もある。個人的には、それと医療の問題をうまく考えていくことも大事と思っている。

(全日空)

- ・成田は就航地点が非常に多い。100近い就航国の方の“成田”が目的地という方に、マーケティング・リサーチをしてみてはどうか。
- ・千葉県として、旅客・モノの流動をリサーチすることで、我々の気がつかない、新たな発想が見つかり、活性化につながるのではないかと思う。

(IBEX)

- ・内際乗り継ぎの利便性を上げるということが、成田空港のポテンシャルを上げ、羽田空港と対抗していく上で一番重要なポイント。国内線の拡充ということが大事。

(NAA)

- ・空港として、これからも機能性向上のメニューとして、ビジネスジェットやLCCも含め、様々な形で受け入れられるようにやっていきたい。
- ・国内線も、今後増やしていきたいと考えている。本協議会PR本部の中で、各自自治体への働きかけを一緒に行動していきたい。

(リムジンバス)

- ・空港と結んでいるバス会社としては、何時に空港に着く、ということが課題。社会実験に際しては、そういう点についても御配慮を賜りたい。

(中小企業団体中央会)

- ・私どもの傘下の企業体は小規模なものが多い。経済活性化策の中で、中小企業は、具体的にどう参加していくか、どう活かしていくのかということが分からないでいる。県経済活性化での中で具体的な例を示してもらえると、もっと力強い施策になる。

(京成電鉄)

- ・カジノを、観光産業をより進展させるための一つの施策として、外国人に限って認めて空港の近くに設置するということは、空港の活性化に非常に役立つのではないかと。

(日本航空)

- ・地元の自治体、住民の皆様の合意形成の上のもの。
- ・空港内・空港近隣に設置された場合、乗り継ぎ旅客を中心に、旅客増・空港競争力向上に大いに資すると考えている。
- ・施設のあり方についてだが、いわゆるテーマパーク型・複合型施設をはじめから展開することで、外国人専用という制限なく、皆さん明るく利用可能ではないかと。

(リムジンバス)

- ・我が国は観光立国が一つのテーマ。そういった施策に資する、つまりカジノ収益を財源として観光立国の施策を進めるということはどうか。

(経営者協会)

- ・国ではカジノ議連もできたが、マスコミでも、第1段階としては東京、沖縄、北海道だと名前が挙がってきている。
- ・早く手を挙げたもの勝ちということもある。具体的なことはこれからとしても、千葉県でも観光振興を進めていくということ、一刻も早く表明することが必要だろう。

(NAA)

- ・例えば、空港周辺にカジノのみでなくアミューズメントパークのような形で、地元へ宿泊していただくことで、地域経済活性化に繋がるのではないかと考える。
- ・スキポールやラスベガスのように空港内に設置しているところもあるが、事業的にも法律的にも空港内設置は難しいのではないかと。
- ・NAAとしては、まずは、空港の機能性向上を優先すべきと考えている。

(商工会連合会)

- ・是非、カジノ効果と県内観光などを、広く結びつけていただくような施策を考えてもらいたい。

(商工会議所連合会)

- ・カジノについては時期尚早と回答した。
- ・新しいステージに進んでいく中で、考慮しておく必要はあると思うが、工場・物流などが集積していくという環境がない中で、いきなりカジノというのはどうか。コンベンションセンターなどの機能を整備していくということを考えていく中で、カジノを位置づけるべき。
- ・(産業集積を図っていくという意味で) 圏央道の整備が是非とも必要である。